

オランダから日本向けに輸出される生きた家きん等の一時輸入停止措置について

令和3年11月16日

今般、オランダのユトレヒト州の家きん飼養農場において高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認されたことから、本発生地域が位置する家畜衛生単位第12番の区域から日本向けに輸出される家きん肉等について、輸入が停止されました。

なお、輸入停止措置の対象地域、品目等については下記のとおりです。

記

1 輸入停止措置の対象地域

オランダから日本向けに輸出される家きんの初生ひな及び種卵並びに家きん肉等の家畜衛生条件で規定されている家畜衛生単位のうち、第12番の区域

2 輸入停止措置の対象品目

- (1) 生きた家きん（鶏、うずら、七面鳥、だちょう、きじ、ほろほろ鳥及びかも目の鳥類並びにそれらの初生ひなに限る。）
- (2) 家きんの液卵

ただし、令和3年10月22日以前にオランダにおいてと殺又は採卵された(1)及び(2)の品目であり、かつ輸出されるまでの間、防疫上安全かつ衛生的に保管又は輸送されたものであること（令和3年10月22日までに加工、梱包まで終了していることが必要）をオランダ政府が証明しているものについては、輸入停止措置の対象外とする。

3 輸入検査時における消毒措置の対象品目

羽毛

ただし、令和3年10月22日以前にオランダにおいて生産された羽毛であり、かつ輸出されるまでの間、防疫上安全かつ衛生的に保管又は輸送されたものであることをオランダ政府が証明しているものについては、鳥インフルエンザの観点からは消毒の対象から除外する。ただし、ニューカッスル病又は家きんコレラ発生地域から輸入される羽毛については、引き続き、消毒の対象とする必要があるので留意されたい。